

体験して実感、折り紙って面白い!

夢中になって作ったよ!

折り紙名人と一緒に「小箱鶴」作りを体験!

あらかわ



▲▶好きな色の折り紙を自分で選びます。この日はちょっと大きめの24センチの折り紙を使用しました



▶ジュニア記者の「小箱鶴」が完成! 「もっといろいろ挑戦してみたいな!」

番外編・立体折り紙

折り紙を組み合わせると、さまざまな形の立体折り紙を作ることができます。

初めて見る折り紙ばかり!

すみちゃん

懐かしいあの日あの時

思い出写真館

No.21

昭和29年の大雪



昭和29(1954)年1月26日、道路が一面真っ白になるほど雪が積もり、人々は雪かきに追われているようです。写真は当時の尾竹橋通りを写したもので、商店の看板などが見えます。



▲歩道や道路の脇には、たくさんの雪が積み上げられているのが見えます

芭蕉さんの時代にタイムスリップ!

「芭蕉の大橋渡り」で千住大橋を渡りました

奥の細道への旅立ちの地である荒川区では、さまざまなイベントを開催しています。今回は、区内の小・中学生が参加した様子を紹介します。

11月30日、「芭蕉の大橋渡り」が千住大橋で開催されました。奥の細道に旅立つ際に、松尾芭蕉さんやお供の曾良さんが渡った千住大橋を、芭蕉さんや当時の町の人たちの衣装を着て、清掃しながら橋を渡るというものです。第二瑞光小学校・第三瑞光小学校の児童と南千住第二中学校の生徒たちも参加しました。

芭蕉役の人が大橋を渡し、曾良・町の人たち役も続いて渡ります。「芭蕉さんはどんな気持ちで奥の細道への旅に出たのだろう」と思いを巡らしながら、清掃活動を行いました。参加した生徒は「草履を履いて歩くのは大変でした。これで旅に出た芭蕉さんはすごいと思いました」「着物を着て千住大橋を渡り楽しかったです。千住大橋をきれいにすることもできて、良かったです」と、話していました。

▲芭蕉さんや当時の町の人たちの衣装を着て参加した生徒たち

▲みんなで千住大橋を清掃しました

昔遊びを体験しよう!

けん玉と折り紙 どちらも楽しそうだね!

あつくん

けん玉の技を教わって検定にチャレンジ!

あらかわ



▲▶小坂さんにけん玉の持ち方や、玉を上げる方向を教わり、基本の動きから練習



▶けん玉検定で今日の練習の成果をすべて出し切りたい! 二人の表情は真剣です

ろうそく

とめけん

①手と糸がふれないよう、けんを傾ける

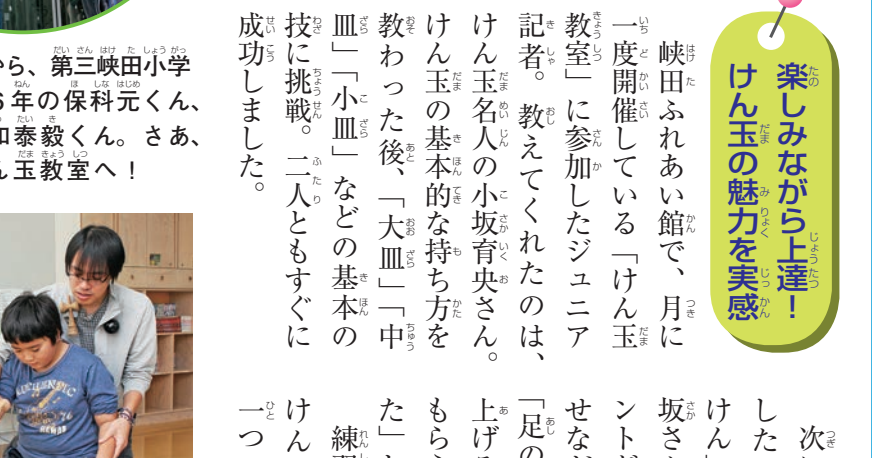
②膝の曲げ伸ばしと共に、玉を引き上げる

③まっすぐに戻した中皿で、玉を受ける

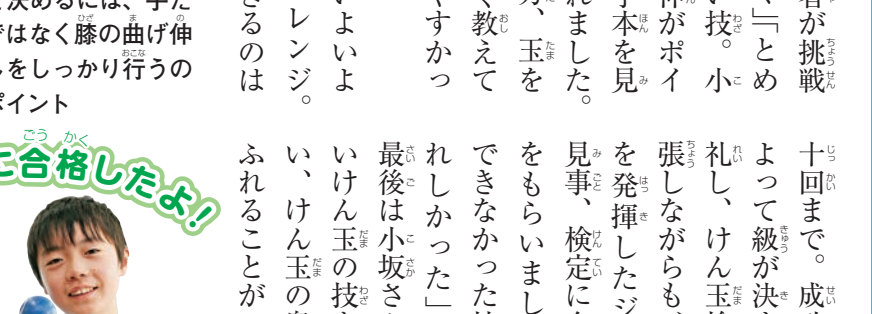
難しい技もバッチリ大成功!

わかりやすく教えてもらったよ

あらかわ



▲左から、第三峡田小学校6年の保科元くん、筑和泰毅くん。さあ、けん玉教室へ!



▲技を決めるには、手だけではなく膝の曲げ伸ばしをしっかり行うのがポイント

検定に合格したよ!

①糸が中皿にふれないよう、けんを傾ける

②静止させた玉を、そのまま引き上げる

③玉の真下にけん先を合わせ、玉を受ける

ふれあい館・ひろば館

交流フェスタを開催

区内にある、ふれあい館13館とひろば館3館が集まり、ダンスや一輪車などの子どもサークルの発表を行います。友だちの発表を観に行こう!

◆日時 3月15日(日) 午前10時~午後4時

◆会場 サンパール荒川 大ホール

◆問合せ 地域振興課 ☎内線2531